

感染症発生状況

令和8年8月21日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和8年8月10日（月）～8月14日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,502名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】77名 【職員】0名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】19名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（27名）、発疹（7名）、咳鼻水（5名）、下痢腹痛（4名）

疾病別：手足口病（19名）、ヘルパンギーナ（9名）、気管支炎・肺炎（2名）、
とびひ（2名）

感染症は落ち着いております。

【疾病別の発生状況】

手足口病	玉山地区、厨川地区、河北地区、盛南地区、河南地区、都南地区で減少しました。
ヘルパンギーナ	厨川地区、河北地区、盛南地区、河南地区、都南地区で減少しました。
気管支炎・肺炎	河北地区で減少しました。
とびひ	盛南地区で増加しました。

【県の状況（8/3～8/9）】

手足口病の定点当たり患者数は15.37人となりました。久慈、二戸、宮古地区を除くすべての地区で警報値（5.0人）を超えています。本症は口の中や手足に水疱を伴う複数の発疹が現れます。まれに無菌性髄膜炎を合併することがあります。乳幼児が集団生活をする保育施設や幼稚園では特に注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗いの励行、タオル等の共用を避ける、おむつ交換時等の排泄物の適切な処理が有効です。

ヘルパンギーナの定点当たり患者数は増加し、2.70人となりました。中部地区で警報値（6.0人）を超えています。本症は発熱、咽頭痛、口内の水疱性発疹を主症状として、まれに熱性けいれんが併発します。予防には患者との濃厚接触を避け、手洗いを励行することが重要です。

手足口病とヘルパンギーナの両者は、乳児から小児を中心に夏季に流行するウイルス感染症で、飛沫感染、接触感染、糞口感染で広がります。まれに脳炎と心筋炎を併発することがあります。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者数は増加し、1.29人となりました。クラスターは中部、宮古地区の教育・保育施設で2件ありました。本症は夏と冬に患者数が増える傾向にあるため、注意が必要です。今後も手洗いや咳エチケット、換気等の基本的な予防対策をしましょう。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyuu/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】